



## アラビア半島の 世界化する 都市における 移民、労働者、 ビジネス

アンドリュー・ガードナー（博士）  
ピュージェット・サウンド大学  
人類学部准教授  
タコマ、ワシントン、USA

1

## 湾岸諸国の歴史 と人口

- GCC諸国の共通点と相違点
- GCC諸国が20世紀に経験したこと
- 湾岸諸国社会の多様性
- ナショナリズムとその構築をめぐる  
営為

「こうした多様性の中であって、アラブの社会と国家の中心的特徴は、ナショナリズムと支配一族、そして部族の正統性を同時に形成・維持しようとする動きがあるという点にある。」

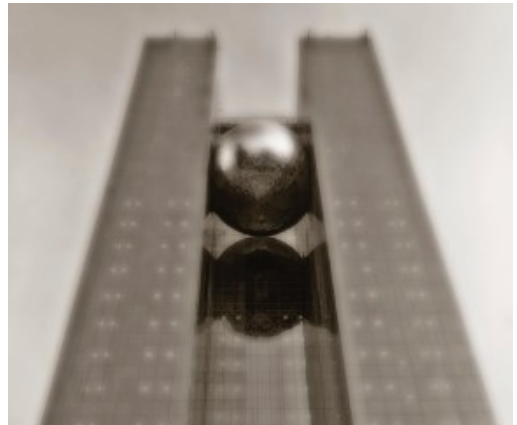


2

## 開発と都市開発

- GCC諸国の公的部門と、公的部門の雇用
- 開発と、コスモポリタンな象徴/文化資本
- 開発、都市開発、そして富の移転

「この意味において、都市開発は国家とその権威主義的支配者の政治的正統性の基盤となっているのだ」



3

## アラビア半島への移民現象

- 湾岸諸国の移民制度の分類
- 湾岸諸国に固有の移民制度上の問題
- 移民現象が国際的な批判を呼び寄せる

「それはカファラ制と移民の管理権限の配分の二つが抽象的に関係し合う中で生まれるもので、湾岸アラブ諸国の移民の経験に見る多様性を説明するものとなる」



4

# 門番、イマジニア、そしてビジネス

- ディヴェンドラの経験、スポンサーとの対話の不在
- 移民研究者としての私の経験
- 門番、イマジニア、そして権威主義

「要するに、イマジニアが生み出した現地のアラブ人の通念や関心というもの、門番の想定を越えたところに存在する実際の現地の国民の社会的関心や通念の間には、著しい差異が発見されるということだ」



5

# 発表の要旨

- 現代湾岸諸国に独特な人口構成
- GCC諸国における開発と都市開発の独特な役割
- この地域の移民現象を取り巻く諸問題
- ビジネスにおける門番とイマジニア



6